

令和 3年度予算見積調書(12月補正予算)

課室名 感染症対策課

担当名 新型コロナウイルス担当

内線 7580

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B 1	新型コロナウイルス感染症対策事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型コロナウイルス感染症対策事業費			
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール			
						分野施策	020519 感染症対策の強化	SDGsターゲット			
1 事業概要 (1) ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業 ワクチン・検査パッケージ等を定着させるため、健康上の理由等でワクチン接種を受けられない者が「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要となるPCR検査等を無料化する。 (2) 感染拡大傾向時の一般検査事業 都道府県知事が特措法第24条第9項等に基づき「不安を感じる無症状者は検査を受ける」ことを要請した場合、これに応じて住民が受検する検査を無料化する。また、感染拡大防止のため自己の意思に基づくワクチン未接種者のワクチン・検査パッケージ等に必要の検査を無料化する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 検査事業者検査費補助金 28,675,000千円 検査事業者(薬局等)が実施する無料検査に対し補助する。 イ 検査事業者検査体制整備補助金 806,000千円 検査事業者が行う検査体制整備に対し補助する。620か所×1,300千円 ウ PCR検査等無料化事業事務委託 263,442千円 新型コロナウイルス感染症検査無料化事業を円滑に推進するため、検査事業者登録、コールセンター業務等を委託する。 エ 事業周知広報業務委託 96,473千円 (2) 事業計画 ア 検査所(薬局等)620カ所設置、1カ所あたり2検査ブースを整備 イ 1検査所あたり1日60回実施 ウ 100日程度で370万回実施 (3) 事業効果 ア 検査の受検を促進し、感染対策と日常生活の両立を図る。 イ 誰もが簡易かつ迅速に利用できる検査環境を整備することで、感染拡大傾向時の感染不安を解消する。							
2 事業主体及び負担区分 (1) (国10/10、県0) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (2) (国10/10、県0) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円											
補正要求額・審査額		国庫支出金	繰入金					一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額
決	29,840,915	29,840,915						0	277,002,560	99,700,371	247,161,645
要	29,840,915	29,840,915						0	277,002,560	うち一財	うち一財
現	247,161,645	236,022,423	6,774,166					4,365,056		0	4,365,056

【審査の考え方】
ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業及び感染拡大傾向時の一般検査事業でのPCR検査・抗原定性検査の無料実施等に要する経費について、その必要性を認め、要求額を措置した。